



上・原砂は分級機で5段階に分けて、コンベアーで外に運びだされていく。



上・硅砂の副産物としてネンドもとれる。



上・硅砂は1700度の耐火度があるという。

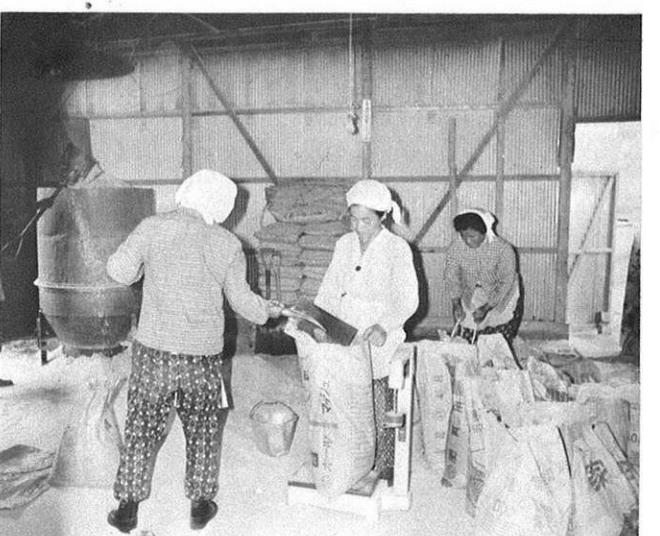
硅 砂

硅砂——耳なれしない言葉だが、いのちやはがねなどを作る時に使う砂型の砂といえばハハアとうなづく人も多いだろう。何しろ機械工業に不可欠なものがこの硅砂である。新産都市が叫ばれる昨今、成長株として一躍注目されはじめたのも当然のことだが、目下荒尾市を中心にして500万トンの埋蔵量が確認された。さきほど来熊した工業技術院の調査団も流通面を改善すれば年3万トンの生産は可能と折紙をついている。一方この硅砂の年間需要が最近急速に伸びて、九州だけでも年間20万トンの需要があり、不足分は県外から移入している。従って「硅砂産業」も今後一段と期待されるわけだが、この硅砂をコニカルミルで加工すればガラスの原料にもなるというから一石二鳥の“花形”といふわけ。

生産量は現在2万トンだが、技術改善でまだまだグンと伸びそうだ。



上・硅砂の原石は花崗岩。九州には福岡県の田川市と、熊本県の荒尾市だけである。



上・重油バーナーで乾して出荷、北九州方面へも多くなった。

家経営を正しい方向へ指導するために試験研究機関の整備および指導体制の拡充をはかる。

観光漁業の振興……

他の観光施設と密接な関連のもとに地

流通加工の合理化

のり養殖業地帯における流通加工……
有明海、不知火海北部ののり養殖業については、のり保管施設を整備して、のりの円滑な集荷、検査、保管、保藏により、系統共同集出荷体制の確立および出荷調整による所得の向上をはかる。また味付のり、貝類の加工施設を設置して、漁業者による二次加工をパイロット的に推進する。

漁船漁業地帯における流通加工……

漁船漁業地帯における流通加工……
天草、不知火海南部の漁船漁業地帯は天草架橋の完成および国道三号線、五七号線の改修など道路網の整備によって生産地から消費地までの陸上輸送条件が大幅に改善され、魚価の形成に有利な条件が整備される。このような条件変化に対応して、漁獲物の流通の拠点を中核的の漁港およびこれに準ずる地点に置き、冷蔵トラック、鮮魚運搬船、製氷施設、貯氷

施設、水揚荷さばき所などの流通改善施設を重点的に配置する。高級鮮魚介類については、県内主要消費市場へ出荷するほか一部は東京、京阪神、北九州方面の大消費市場への出荷体制を整備して漁価の格差による所得増をはかる。多獲性の魚介類については主として県内消費市場へ出荷する。なお、天草の多産である

施設、水揚荷さばき所などの流通改善施設を重点的に配置する。高級鮮魚介類については、県内主要消費市場へ出荷するほか一部は東京、京阪神、北九州方面の大消費市場への出荷体制を整備して漁価の格差による所得増をはかる。多獲性の魚介類については主として県内消費市場へ出荷する。なお、天草の多産である

水産加工の近代化
水産加工については、いわし、煮干そして他の低次加工が大部分であり、設備もたがつて設置の近代化をはかるとともに、煮干およびわかめの販売については、県境を通ずる系統共販体制の確立を推進する。また、のりの二次加工施設を置いて商品価値の向上をはかる。なお、今後国民の嗜好にあつた特産加工の方法を研究し、漁業者の所得の増大をはかる。

沿岸漁業構造改善対策事業推進の中心母体となる漁協の整備強化をはかるため、計画的な合併を推進するとともに、組合員一人当たりの実出資額の大幅な増加を奨励し、漁協の整備をはかる。また販売事業、信用事業を積極的に推進するため、信漁連を設置して漁船の大型化、装備の近代化、のり処理施設の近代化などの資金需要に対応する系統および制度融資の活用を促進する。これらの施策により経済基盤を確立し、経済団体として健全な漁協を育成強化する。なお、漁業共済制度および漁船保険制度を拡充して、漁業経営の安定をはかる。

内水面漁業の振興
内水面漁業の振興
河川においては、遡河性魚族の種苗および有用魚族種苗の積極的放流を行なつて、資源の維持養育をはかる。ダムなどによって生じた人工湖については、その特性に適合した魚族の放流を行なつて人工湖の活用をはかる。潮溜り、湖沼については従来の粗放的養殖法から積極的に集約的養殖方法への転換を推進する。

中養殖対策としては優良品種の採卵をばかりながら、県内消費市場の開発を促進する。
なお、人工湖などについては生糞養殖、飼付養殖などにより、観光面との共同開発をはかる。以上のようないわゆる内水面セントラルなどを設置し、観光と結びついた漁業の振興をはかり、漁家がこの事業にたずさわることにより漁家経営の多角化と所得向上に資する。

せえび、くるまえび、たいなど高級魚の価格向上策として産地に短期蓄養を兼ねた出荷調整用施設を設置して出荷体制を整備する。

水産加工の近代化

水産加工については、いわし、煮干そして他の低次加工が大部分であり、設備もたがつて設置の近代化をはかるとともに、煮干およびわかめの販売については、県境を通ずる系統共販体制の確立を推進する。また、のりの二次加工施設を置いて商品価値の向上をはかる。なお、今後国民の嗜好にあつた特産加工の方法を研究し、漁業者の所得の増大をはかる。

九月のメモ

*老後を楽しくするために
全国の郵便局では、九月から十二月までの間、簡易保険加入促進運動を展開しているが、九月はとくに、老後の備えとして新加入を呼びかけている。

老後の備えを自分でする方法としてはまず、働きなくなる時の年金を目標に老後の生活資金を積立てるとともに、途中万一のことがあっても残された妻の生活資金が確保できるものとして、養老保険がある。

その他の毎年一定の金額を受け取る郵便年金などの制度もある。

☆身体障害者の雇用促進

九月一日から三十日まで実施。身体障害者の雇用にはなお多くの問題があり、失業または不完全就業の状態で求職登録を行なつていない者も多く、身体障害者の雇用促進対策を総合的に推進する。